

コミュニティナースがつなぐ 我入道地域活性化事業

山本真紀（コミュニティナースやどかり）



2024年度におこなってきた事業や活動



- ・毎週木曜日のコミュニティスペースの開放
- ・毎月開催の多世代型こども食堂『おなかまめし』
- ・我入道住民でマップ制作実行委員会を立ち上げミーティングを重ねる
- ・まちの駅我入道に出店しMAPを中心にコミュニケーションを広げる
- ・我入道文化祭を開催し多世代交流を試みる
- ・コミュニティナースの講演会及びワークショップを2回開催
- ・気になっている方の自宅訪問
- ・地域住民の方と散歩
- ・各地の井戸端会議へのドタ参加

事業効果

- ・地域住民とのつながりの強化
- ・「おなかまめし」による世代間交流の促進
- ・「我入道文化祭」の成功と地域住民の主体的な関与
- ・我入道マップ制作とスタンプラリーによる地域活性化
- ・自治会・社会福祉協議会などとの協力関係の強化

現状

昨年同様、継続して毎週木曜日コミュニティスペースである古民家の無料解放をおこないつつ、毎月「おなかまめし」という多世代交流型、みんなで料理を作ってみなで食べるという食堂を開催していますが、我入道エリアの方々の参加が乏しいのが現状です。しかしながら、少しずつですがコミュニティナースとしての存在や活動は認知されてきており、顔と顔のつながりが増え、信頼関係を着実に育てているという状況で、個人的な健康相談や自治会のお悩み事も相談を受けるようになってきました。また、講演会を通し共に活動をしていくことになった仲間にも巡り会えました。

今後の活動

毎週木曜日のコミュニティスペースの開放

不定期で健康講座なども開催する

イベント開催

住民が主体となれるイベントを定期開催していく

地域での認知活動

イベント出店や地域活動に参加

看護学生の実習受け入れ（2025年8月開始）

地域医療の担い手を育てる

法人化しコミュニティナース養成講座を開催（2025年9月npo法人設立）

人材育成・仲間作り

振り返り

これまで、地域の中で「誰もが安心していられる居場所」を作りたいと、木曜日のコミュニティスペースの広報に力を注いできました。けれど、活動を重ねる中で、大きな気づきがありました。それは、「居場所は一つではない」ということ。居場所とは、必ずしも「場所」である必要はないということです。なので、これまでの「コミュニティスペースやどかりを多世代方の居心地の良い居場所にしたい！」という考えから一歩離れて、その人にとっての居場所を尊重し、ひらいていくというスタンスへとシフトしています。それは“場”を提供することよりも、“関係性”を育むこと。誰かの安心が、どこかでそっと芽吹く、そのきっかけになればと願っています。場所にとらわれず、人に寄り添い、それぞれの居場所を、それぞれの形で認め合える地域作りを目指して

